

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版, CASBEE増築2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	医療法人 富家会 富家病院	階数	地上3F
建設地	埼玉県ふじみ野市亀久保字大野原	構造	S造
用途地域	市街化調整区域、防火地域指定無	平均居住人員	59 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年2月 竣工	評価の実施日	2018年1月26日
敷地面積	4,612 m ²	作成者	栗木
建築面積	923 m ²	確認日	2018年2月6日
延床面積	2,582 m ²	確認者	大沢



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合 建物形状を、高さ方向でなく横方向に取るように計画し、周辺地域への圧迫感、景観の阻害が無い様にしている。色彩もアースカラーを基調とし、周辺地域の景観を損ねないようにしている。		その他 0
Q1 室内環境 窓を適切に配置し、自然光を取り入れ昼光率の向上、また建物内は、全面禁煙とし、非喫煙者が影響を受けない対応、室内環境の向上に努めた。建築材料には、全面的に F を採用し、室内環境に配慮した。	Q2 サービス性能 個室の広さ、天井高さを十分確保し、入居者に使いやすい施設であるとともに、職員動線にも配慮した計画とした。またコンクリート壁部分を減らし、壁長さ比率を抑え、更新性に配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) 空調室外機と給湯用ガス給湯器の全てを、GL+10m以上の屋上に配置し、室外環境への配慮を行った。
LR1 エネルギー 窓の位置や大きさを計画する際に、自然採光や通風に配慮し、2, 3階中央に光庭を設置し、自然エネルギーの利用を図った。また省エネルギーに配慮し断熱性能を向上させ、BPIを小さくし、一次エネルギー消費量であるBEEIを削減させた。	LR2 資源・マテリアル 節水型衛生器具の導入による節水や、分別可能なLGS+ボード貼り及びエコマークのあるウッドデッキ材を光り庭の床材として採用した。断熱材にはノンフロン発泡材を使用し、汚染物質の排出に配慮した。	LR3 敷地外環境 建物周囲に緑地や駐車場を配置し、周辺地域への圧迫感を軽減した。西側にある既存の雑木林との調和、また空地には竹林を配置し、採光、通風に配慮し、熱環境の向上を目指した。外観を落ち着いた色調として昼光の反射によるグレアなどに配慮した。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
Q: Quality (建築物の環境品質), **L: Load** (建築物の環境負荷), **LR: Load Reduction** (建築物の環境負荷低減性), **BEE: Built Environment Efficiency** (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版、CAS
医療法人 富家会 富家病院

使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版、C
 評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
0 建築物の環境品質									2.9
Q1 室内環境					0.40		-		2.9
1 音環境				2.6	0.15	2.4	1.00		2.5
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40	3.0	0.40		
1.2 遮音				3.0	0.40	2.7	0.40		
1 開口部遮音性能				3.0	0.40	3.0	0.30		
2 界壁遮音性能				3.0	0.60	2.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	3.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	3.0	0.20		
1.3 吸音				1.0	0.20	1.0	0.20		
2 温熱環境				2.6	0.35	2.6	1.00		2.6
2.1 室温制御				3.0	0.50	3.0	0.50		
1 室温				3.0	0.38	3.0	0.57		
2 外皮性能				3.0	0.25	3.0	0.43		
3 ゾーン別制御性				3.0	0.38	-	-		
2.2 湿度制御				1.0	0.20	1.0	0.20		
2.3 空調方式				3.0	0.30	3.0	0.30		
3 光・視環境				3.0	0.25	3.8	1.00		3.2
3.1 昼光利用				3.0	0.30	4.2	0.30		
1 昼光率				3.0	0.60	5.0	0.60		
2 方位別開口				-	-	-	-		
3 昼光利用設備				3.0	0.40	3.0	0.40		
3.2 グレア対策				3.0	0.30	3.0	0.30		
1 昼光制御				3.0	1.00	3.0	1.00		
3.3 照度				3.0	0.15	3.0	0.15		
3.4 照明制御		病室内4系統区分制御		3.0	0.25	5.0	0.25		
4 空気質環境				3.6	0.25	3.3	1.00		3.5
4.1 発生源対策				4.0	0.50	4.0	0.63		
1 化学汚染物質		建築材料には、全面的に F を採用		4.0	1.00	4.0	1.00		
4.2 換気				2.0	0.30	2.3	0.38		
1 換気量				3.0	0.50	3.0	0.33		
2 自然換気性能				-	-	3.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮				1.0	0.50	1.0	0.33		
4.3 運用管理				5.0	0.20	-	-		
1 CO ₂ の監視				3.0	-	-	-		
2 喫煙の制御		館内全館禁煙		5.0	1.00	-	-		
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-		3.0
1 機能性				2.6	0.40	3.4	1.00		2.8
1.1 機能性・使いやすさ				1.0	0.40	3.0	0.60		
1 広さ・収納性				-	-	3.0	1.00		
2 高度情報通信設備対応				-	-	-	-		
3 バリアフリー計画				1.0	1.00	-	-		
1.2 心理性・快適性				4.0	0.30	4.0	0.40		
1 広さ感・景観		病室天井高2.5m		-	-	4.0	0.50		
2 リフレッシュスペース				-	-	-	-		
3 内装計画		照明計画を踏まえた内観パース作成による内装計画		4.0	1.00	4.0	0.50		
1.3 維持管理				3.5	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保		2,3階に汚物保管庫を設け、掃除流し、洗濯機、汚物流しの設置		4.0	0.50	-	-		
2 耐用性・信頼性				3.3	0.30	-	-		3.3
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80	-	-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				4.0	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		外装タイル貼り		5.0	0.20	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		多湿箇所にステンレス製ダクト採用		5.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水管:塩ビライニング鋼管、汚水排水、雑排水管:塩ビ管		5.0	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20	-	-		
2.4 信頼性				3.4	0.20	-	-		
1 空調・換気設備		個別運転が可能な空調、換気設備		4.0	0.20	-	-		
2 給排水・衛生設備		節水型器具の採用、給水管の系統区分、受水槽に水栓		4.0	0.20	-	-		
3 電気設備				3.0	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20	-	-		
5 通信・情報設備				3.0	0.20	-	-		

3 対応性・更新性			3.1	0.30	2.5	1.00	2.9
3.1 空間のゆとり			2.8	0.30	2.0	0.50	
1 階高のゆとり			2.0	0.60	2.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ		共用部 壁長さ比 = 0.256,病室 壁長さ比 = 0.663	4.0	0.40	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.4	0.40			
1 空調配管の更新性			3.0	0.20			
2 給排水管の更新性		天井スペース、PSの確保がされている	4.0	0.20			
3 電気配線の更新性			3.0	0.10			
4 通信配線の更新性			3.0	0.10			
5 設備機器の更新性			3.0	0.20			
6 バックアップスペースの確保		屋上に空調室外機設置スペース確保	4.0	0.20			
Q3 室外環境(敷地内)				0.30			2.7
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30			2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40			3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30			3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50			
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性							3.1
LR1 エネルギー				0.40			3.1
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI _m =0.67	5.0	0.20			5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10			3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEI _m] = 0.91	2.4	0.50			2.4
4 効率的運用			3.0	0.20			3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00			
4.1 モニタリング			3.0	0.50			
4.2 運用管理体制			3.0	0.50			
集合住宅の評価							
4.1 モニタリング							
4.2 運用管理体制							
LR2 資源・マテリアル				0.30			3.2
1 水資源保護			3.4	0.20			3.4
1.1 節水		節水コマ、節水型便器、擬音装置の採用	4.0	0.40			
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60			
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70			
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30			
2 非再生性資源の使用量削減			3.1	0.60			3.1
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.11			
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22			
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.22			
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			3.0	0.22			
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-			
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		外壁内壁LGS + ボード貼り	4.0	0.22			
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.7	0.20			3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30			
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70			
1 消火剤			-	-			
2 発泡剤(断熱材等)		ノンフロンウレタン発泡断熱材	5.0	0.50			
3 冷媒			3.0	0.50			
LR3 敷地外環境				0.30			3.1
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率=93%	3.2	0.33			3.2
2 地域環境への配慮			3.1	0.33			3.1
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25			
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.5	0.25			
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25			
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25			
3 交通負荷抑制		道路から駐車場へのアプローチ通路や、駐車場の確保9台	5.0	0.25			
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25			
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33			3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40			
1 騒音			3.0	1.00			
2 振動			-	-			
3 悪臭			-	-			
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40			
1 風害の抑制			3.0	0.70			
2 砂塵の抑制			3.0	-			
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30			
3.3 光害の抑制			3.0	0.20			
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70			
2 日光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30			

CASBEE埼玉県

重点項目シート

使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	医療法人 富家会 富家病院	BEE	1.0	BEEランク
------	---------------	-----	-----	--------

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO ₂ の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		
3.2	+	2.6	=	5.8 
重点項目の各スコアの合計点				
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上 	非常によい 6.8以上 	すばらしい 8.0以上 	

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO₂の削減		スコア平均	3.2
< CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア >			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.2
建物周囲に緑地や駐車場を配置し、周辺地域への圧迫感を軽減した。また外観を落ち着いた色調として昼光の反射によるグレアなどに配慮した。			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	2.6
< CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア >			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	2.0
Q3 室外環境(敷地内)	3.2 敷地内温熱環境の向上	スコア	3.0
LR3 敷地外環境	2.2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0
西側にある既存の雑木林との調和、また空地には竹林を配置し、採光、通風に配慮し、熱環境の向上を目指した。			

: 入力欄